

# 九条の会・尾張旭 ニュース

第 18 号

2009年4月10日

「九条の会・尾張旭」発行

(事務局 54-6279)



ピース合唱団の練習風景  
(指導は松本雅子さん)



いつも素敵な和服姿の  
澤地久枝さん

5月24日(日)午後、「九条の会・尾張旭 3周年のつどい」

## 期待高まる 澤地久枝さんの講演

多くの市民の皆さんのご参加を、お待ちしております！

今回のニュースに「3周年のつどい」のチラシ3枚をはさませていただきました。知り合いの方やご近所の方に渡すなど、お誘いに活用いただければ幸いです。もっと沢山渡せる方や地域などでチラシを配っていただけの方は事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

「九条の会・尾張旭」は5月24日(日)午後、市文化会館ホールで「3周年のつどい」を開きます。記念講演の講師は、「九条の会」呼びかけ人の一人、ノンフィクション作家の澤地久枝さん。

3度の心臓手術を経た身でありながら、「わたしは今、講演の依頼があればどこにでも出かけて話をするようにしています」「死ぬ直前まで、わたしは今のような活動を続けるつもりですが、それでも大勢の前でお話できる時間は、もうそれほど残されていないかもしれません」。そう言って尾張旭まで来て下さる澤地久枝さんのお話には、いま多くの市民の方から、また県内各地の方からも期待の声の寄せられ、大きくなっています。

「澤地さん大好きです」「ラジオに出てらっしゃった頃からのファンです」「ポスター見ましたがチケットはまだありますか?」「預かった15枚、完売し



ました！」「シニアクラ  
ブの方に話したらアツと  
言う間に売れちゃって」。  
そんなうれしい反応が少  
しずつ増えています。

市外からも、西区の方  
から「行きたい人が9人  
いるから9枚送って！」、  
振替口座利用で大府の方  
5枚、半田の方4枚：  
でも一方、近所で勧め  
てみると「澤地さん？知  
らない」という方も少な  
くありません。澤地さん  
のことをもつと知ってほ  
しい、出来るだけ多くの  
方に来ていただきたい。  
そして澤地さんのお話を  
聞いていただきたい。

いの方、ご近所の方など  
に勧めたり、誘っていた  
だきたいと思つています。  
皆様のご協力を、よろ  
しくお願い致します。

ピース合唱団に65人が  
当日は「名東9条の会」  
のご協力を得て、一緒に  
合唱曲「いちばん大切な  
もの」他をつたいます。  
この曲は名東区在住の  
声楽家・松本三紀夫さん  
の作詞・作曲で、昨年十月  
の「名東9条の会3周年  
のつどい」の折に発表さ  
れ大好評だったもの。今  
日も松本さんご夫妻が練  
習指導に、毎回尾張旭ま  
で来て下さっています。  
「ピース合唱団」を募  
集してみたら65名もの方  
の応募があり、賑やかに  
楽しく練習しています。

「九条の会・尾張旭 3周年のつどい」

## 【講演】「ひとりからはじまる」

講師：澤地久枝さん

日時：5月24日(日)午後1時30分～ (開場：午後1時)

会場：尾張旭市文化会館ホール( :0561-54-8500)

(瀬戸街道、UFJ銀行の信号から南へすぐです)

参加費：500円(高校生以下は無料) \* 託児もあります。

\* 参加券をご希望の方は事務局(Tel/Fax:0561-54-6279)までご  
連絡下さい。市内などお近くの方には直接お届けします。

\* チケット代金の支払いには、ゆうちょ銀行の次の振替口座も  
ご利用下さい。

口座番号：00860-9-174250、

口座名称：九条の会・尾張旭(わがやのかい くりあ)

「3周年のつどい」成功のため活動資金カンパにもご協力下さい。

まだ十分間に合います。  
あなたも久しぶりに大き

な口をあけて、一緒になら  
なうたつてみませんか！

# 【稿】澤地久枝さんを みんなの「ひとりからはじまる」 で迎えたい

平子町 A

澤地久枝さんと聞くと、「残された若き妻たち 動いた。若いころ読んだ三冊の本 はその後をどう生きたのか」という問いに答えるべく、澤地さんがどのような考えで、どのような方法で究明していったのか、この本を読むと手に取るようにわかり、すごい女性があらわれたと思つた。妻たちによりそい、彼女たちの声をなんとか届けようとする澤地さんの熱意にわたしの心は強く

それからは澤地さんの隠れファンになった。次に読んだ『火はわが胸中にあり』は圧巻だった。闇に葬られていた竹橋事件を扱ったこの本は、気が遠くなるような膨大な資料を駆使し、なんとか事件に光を当てようとする、澤地さんのすごさがひしひしと伝わってきた。

澤地さんは、まるでさだかではない遺跡の発掘に一人で果敢に挑んでい

る考古学者のようだった。何が著者をここまで駆り立てているのだろう、ますます澤地さんはわたしの中で大きな存在になった。

澤地さんのデビュー作『妻たちの2・26事件』は鮮烈だった。処刑された将校の妻たちの側からみた「2・26事件」、歴史をみる新たな視点の登場を強く感じた。

尾張旭市立図書館には、澤地久枝さんの著書が51点もあります。

届ける小さな声 澤地久枝  
私の青春日記めぐり 澤地久枝  
私のかける小さな声 澤地久枝  
金田一 澤地久枝  
妻たちの「二二六事件」 澤地久枝

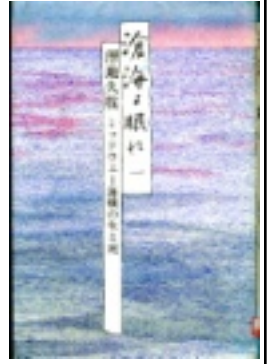
妻たちの「二二六事件」 澤地久枝

しばらくして出版された『滄海よ眠れ』は、飛ばし読みした記憶がある。それは本の内容がつまらなかつたからではなく、結末に早く行きたかつたから。ゆっくり読むではいられなかつた。

ミッドウエー海戦の戦死者の数が、大雑把な概数でしかないことに驚い



は強く



た澤地さんが、戦死者の人数を確定するため、日米をまたにかけて取材調査した報告である。

何人までわかるのだろう、この調査の最後はどうなるのだろう、ということが気になって斜め読みをした。

「もうこれ以上はわからない」とは言わない澤地さん、日本側が3057人、アメリカ側が362人、人数を確定してしまっただ。

こんなにも丁寧に、こんなにもあきらめないで、こんなにも資料に誠実に、



「すごい！」としかいいようがなかった。

そして2008年8月、NHKの『知るを楽しむ』（4回）で澤地さんのお話を聞いた。澤地さんはこれまでの人生を振り返り、未来への思いをきっぱりと語った。

知らないことが沢山わかった。澤地さんの家族関係や沖縄とのかかわりなどなど。

でも一番びっくりしたのは、重い心臓病をかか

え、家族の生活を支えながら、あのような迫力ある著書を書きあげていたということだった。

それからもう一つ。わたしは戦争や事件で悲惨な最期をとげた人々のことを知る時、どうして化けて出てこないのだろう、やっぱり幽霊はこの世にはいない、とよく思った。

しかし戦争や事件で人生を断ち切られた人たちは、化けて出てくるかわりに、澤地さんの生命を助け、彼女を通して自分たちの声を伝えていたのだ。なんとしても明らかになりたいという澤地さんの熱意は、澤地さん一人のものではなかった。

そんな澤地さんに「3周

年のつどい」で講演していただけるとは思いもかけなかったこと、本当にうれしくただ感謝。

万全でない体調をおしでもという澤地さんの決意、「呼び掛け人として名前を挙げた人たちは、わたしを含めてすでに大変な年齢になっています。死ぬ直前まで、わたしは今のような活動を続けるつもりですが、それでも大勢の前でお話できる時間は、もうそれほど残されていかないかもしれませぬ。：わたしたちの国は憲法の原点から、残念ながら遠く離れたところに来てしまっていますが、再び憲法の原点に戻り、

武器や戦争のない、人が

人として生きていくことができる、そうした社会があることを世界に訴え、そのことで尊敬を受ける国になってほしいと思っています。」

澤地さんの強い決意に応える迎え方をしたい。

講演のテーマは「ひとりからはじまる」。

わたしの「ひとりからはじまる」を振り返ってみると、例えば知人を講演会に誘うという「ささやかなこと」、それでも大きな決断と勇気を要した。でもそうした行為によって自分の中の何かが変わり、世界がより自分に近いものになることをこれまで実感してきた。今でも活動というのは

【投稿】

# 「発足して3年」を迎えて

世話人代表の一人として

B

自由党と民主党（当時の保守政党）が大同団結し、「自民党」を作った。

目的の最たるものは、「権力の奪取」と「憲法の改正」である、という。

「権力の奪取」と「憲法の改正」である、という。いわゆる「五五年体制」の出発である。それ以後、約60年、わが国においては「権力の変更 政権の移転」はなかった。加えて、岸信介の孫、安倍坊ちゃん内閣は外貌に似ず、いわゆる右翼。教育基本法の改正とか、国民投票法とかを議決した。坊ちゃんが投げ出した後、福田・麻生の両坊ちゃんは「何

を考えているのか分らない内閣」で、憲法改正どころでなく、「政局より政策」などいつている。

昨年9月、リーマンショック以来「百年に一度の未曾有のパニック」といつて、財政・金融政策に余念がない。ただ一つ、日本の基本戦略、基本政策は抜本的に変えざるを得なくなつた。なるべく「明るい政策に変更」をお願いしたい。私たちが「九条の会・尾張旭」は設立三周年を迎える。発

足当時の「憲法改正」ムードが収まって来た。有難

いというか、それとも「九条の会」を呼びかけた故加藤周一氏、故小田実氏などの真摯な呼びかけに応じた市民運動（権力には屈しない）が生まれ、約7300余の「九条の会」が出来た。その

競いに怯んだようでもある。今回の記念講演には「九条の会」呼びかけ人の一人、澤地久枝さんをお迎えした。とてもうれ

しい。「呼びかけ人の最後の一人になつても、やる」。その不撓の情念を充分にお聞きし、わが胸に受け止めたいと思う。

お願

い

得意ではないけれども、「戦争はいや、平和がすぎ」と呼びかけることは「わたし」が成長していくために大切なこと、そうした「ひとり」と「ひとり」がつながりあって「よりよい社会」が出来上がっていくことは確信できるようになった。

思い返してみると、「1周年のつどい」の頃は、改憲へ大きく動いていた。2006年「教育基本法」改定、2007年「イラク特措法」の2年間延長問題と「国民投票法」制定、情勢は緊迫していた。今は当時と比べて九条改憲の動きは遠のいたように見える。雇用の確保やセイフティネットの充

実、先の見えない経済危機への不安が一挙に顕在化している。



しかしソマリアへの自衛艦派遣問題をながめていると、とてもそうは思えない。海賊対策に便乗して、なんとしても自衛隊が海外で武力行使できる道をひらこうという強い意志を感じてしま

う。もうこれ以上海外での戦争でアメリカ兵の犠牲はだせない、アメリカのお金はつかえない、かわりに日本兵に戦争の最前線に立つてもらおう、それらの戦争にかかる巨額な費用も日本にできる限

り負担してもらおう、という流れは今も決して弱まっではないと思う。

わたしと「九条の会」のかかわりは、2005年の在日米軍再編に始まる。「神奈川県の間」にアメリカの陸軍第一軍団司令部が来る」というニュースに接した時、日本は米国を守るための「捨て石」になる、と直観した。そしてこの流れからみれば、オバマ大統領に変わったからといって、すでに進められている在日米軍再編が解消されたり、縮小するわけではない。むしろアメリカの経済危機の深刻化によって日本への人的、財政的肩代わりの圧力は、これまで以

上に大きくなることは目に見えるようだ。

来年は、国民投票法の発効、「日米安保50年」にあたる。日本の安全保障や日米関係について考えざるをえない重要な年になるだろう。その意味では九条の役割はこれまでに以上に大きな意味を持つてくる。

もうすぐ「九条の会・尾張旭 3周年のつどい」。どういう迎え方が澤地さんの決意に伝えることになるのか。やはり「ひとりからはじまる」だろう。ひとりひとりの「ひとりからはじまる」でいっぱいになった会場、それが「九条の会」の呼びかけ人としての活

動を人生の総決算と考える澤地さんの決意に応えることだと思つ。

同時に九条をまもり、活かしていく大きな一歩になるはず。

5月24日(日)、文化会館でお会いしましょう。

目に焼きついています。

## 【稿】 拾った命、奪われた命、自ら絶った命

新居町

名古屋に空襲が始まったころ、私は中川区に住んでいました。

空襲があると近所の大人や子どもたちは、家の近くにある防空壕に入りました。それは三十人ほどの人が入れるほどの大

きさでした。防空壕の前

空襲が激しくなった頃、

には空に向けて機銃が設置してありました。こども心に、これで敵機を撃ち落してくるから安心

母から田舎に疎開するよ

機銃(基地や軍事施設も)は付近住民を守るどころか、危険極まりないものでした。

だと思っていました。

否して空襲の中、母と一緒に住んでいました。

ところがその機銃をめ

が、ある日「疎開してもよい」と言いましたら、母はその日のうちに三重

わたしの父は平凡な勤め人でしたが度々徴兵され、訓練をうけては、職に帰っていました。

壕に落ちました。多くの人が亡くなりました。その中には幼稚園と一緒に通った友達、日頃一緒に遊んだ友達もいました。

疎開先に私を一人残して雪の中を帰って行く母を涙を流して見送っていました。その光景は今も

戦争が激しくなってきたらもう戻ってきませんでした。中国東北部にいた父の部隊が沖繩に送られる途中、博多に寄港したときに面会した時だけ



名古屋空襲の様子  
(下方は燃える名古屋城)



沖繩戦の様子(炎放射器による攻撃)

が記憶に残っている父の姿です。

父は度々の訓練の結果、天皇の軍隊の下級将校でした。沖縄戦終了の直前、多くの部下を死なせてしまつたと、自ら死を選びました。しかし、戦争を引き起こした人、積極的に推進した人、命令を出した人の多くが責任を放棄し、反省もしてこなかったことはどうしても許せません。

日本国憲法は、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段とし

ては、永久にこれを放棄しました。

しかし今また、国際協力の名のもとに、戦争に協力し、戦場に陸海空自衛隊が派遣され、国の命令で他国民を殺害するかもしれない状況になっています。逆の

## 【稿】「尾張旭ピース合唱団」練習に参加して!!

桜ヶ丘町 D

ことが起きることも予想されません。そうさせてはなりません。絶対九条をまもりましょう。とを軍国少女でしたとおっしゃっていますが、著書は、戦争に反対し、軍事力を行使することに反対し、平和を求めています。

「九条の会・尾張旭」三年記念行事に澤地久枝さんが来てくださる由。澤地さんは、ご自分のこ

久しぶりに、大きな口をあけ歌をうたう。

口あけて歌をうたうなんて、考えてもみなかった。

子供つれのお母さんから、

私の二十代の頃は「うたごえ運動」が日本中に広がっていた。「うたごえは平和の力」とアコーディオンを手に若者たちの中にとび込み、大きな輪をつくった。

でもいい。声を出すこと、大口を開けること、しかも、大声で「命は守り育てるもの、平和は守り築き上げるもの……」。歌をつうじ、私の胸に、あなたの胸に、そして多くの一人ひとりの胸に平和の灯をともし、そんなことまでできるのです

そんな青春時代の思い出がよみがえる。

今、七十才を目前に、大

きつと五月二十四日には、舞台から1000名の参加者に、「自由と平和の大切さ、守ろう憲法9条」、歌をつうじ私たちの思いが、



人々に届くことだろう。

歌はへたかも知れない。ちよっぴり音がくるうかも知れない。

誰にも負けないぞ。会場と舞台が交流でき、共有できたら、最高だと思っています。

春の訪れとともに、気

持も少々ピンク色。練習に参加し、胸ふくらむころです。みなさんはどうかしら・・・？

ん大切なもの：ことメロディーが頭の中をよぎる様になってきました。



# 【段 稿】尾張旭ピース合唱団に参加して

柏井町

E

「九条の会・尾張旭」の三周年のつどいに、澤地久枝さんのお話が聞けることになって、本当にうれしくて、待ち遠しい気持ちです。

柏井町  
E  
この二時間はあつという間に過ぎていくという感じでした。

「九条の会・尾張旭」の三周年のつどいに、澤地久枝さんのお話が聞けることになって、本当にうれしくて、待ち遠しい気持ちです。

「九条の会・尾張旭」の三周年のつどいに、澤地久枝さんのお話が聞けることになって、本当にうれしくて、待ち遠しい気持ちです。

そして、その日に、平和の大切さを歌う「ピース合唱団」を募集すると

そして、その日に、平和の大切さを歌う「ピース合唱団」を募集すると

そして、その日に、平和の大切さを歌う「ピース合唱団」を募集すると

そして、その日に、平和の大切さを歌う「ピース合唱団」を募集すると



指導の松本三紀夫先生と伴奏の加藤理英子さん

一回目、二回目と参加して、歌うことは楽しいけれどやはり本当に本番までに歌えるように

一回目、二回目と参加して、歌うことは楽しいけれどやはり本当に本番までに歌えるように

一回目、二回目と参加して、歌うことは楽しいけれどやはり本当に本番までに歌えるように

# 【稿】 印場（本地ヶ原演習場への道は「軍道」、瑞鳳橋は「軍橋」と呼ばれた

尾張旭の戦争（その七） 「尾張旭の道」にみる戦争

向町 F

尾張旭教育委員会発行 駐屯していた。この駐屯の「郷土シリーズ・尾張旭の道」のなかに戦時中の様子がわかるところが多々見られます。

地から本地ヶ原演習場へ来るために、道路が整備されることになった。本地ヶ原演習場の一本松

大正の初めころまでは、庄中地内の矢田川には流れの部分だけに板を並べた簡単な橋があるだけだった。このような橋では、

## 陸軍演習場へ向かう道

日清・日露戦争後、わが国では軍隊のいっそうの増強が図られるようになった。それにともない、愛知県内でも各地に陸軍の演習場が設けられた。

本地ヶ原演習場へは、もちろん徒歩できたが、豊橋方面からも行軍の訓練を兼ね、野営をしながらえんえんと歩いてくることもあった。

第三師団には歩兵、砲兵などが属していたが、砲兵の射撃訓練はもっぱら小幡演習場で行なわれ、

尾張旭の近くでは小幡演習場（名古屋市守山区）、八龍演習場（印場元町・桜ヶ丘町）、そして本地ヶ原演習場があった。

第三師団には歩兵、砲兵などが属していたが、砲兵の射撃訓練はもっぱら小幡演習場で行なわれ、

大正五年十月完成したこの橋を、地元の人「軍橋」と呼んだので、その前後の道も「軍道」と呼ばれるようになったということである。

当時、守山には陸軍の第三師団（十六連隊）が

歩兵や騎兵の小銃射撃

村民が参加して建設

展開の訓練が行なわれていた。

演習場へ向かう第三師団が矢田川を渡河するために作られたのが瑞鳳橋

現在の瀬港線「山口道」大正のころ、陸軍の本

\* 瑞鳳橋北の庄中集会所前に

「瑞鳳橋碑」がある。

地ヶ原演習場が設けられると、山口道はこのなかに含まれてしまったのである。

演習場では歩兵や砲兵の訓練が行なわれた。

昭和になると、道の北側には格納庫や駐機場が作られ、練習機が飛ぶようになった。

また、道そのものもグライダーの離着陸訓練用の滑走路に使われるようになった。そして、演習や訓練のたびに、民間人の通行は禁止されてしまった。

滑走路といえば、太平洋戦争末期には、アメリカ軍のB29爆撃機を迎撃するための戦闘機の滑走路が、この道と一部重なるように計画された。

建設ははじめられたのだが、終戦によって中止されてしまった。

#### 本地ヶ原の赤トンボ

現在の本地ヶ原小学校のプールの東側には、陸軍の手によって格納庫とコンクリート敷きの駐機場、それに離着陸に使われた広い芝地が整備されていた。

ここから当時の人々が「赤トンボ」の愛称で呼んだ九五式練習機が飛び立って、本地ヶ原の演習場の上空を舞っていたのである。

#### 昭和の道

昭和に入ると尾張旭の産業はいつそうさかになり、それにつれて物資や人々の動きはより活発になった。

瀬戸の陶磁器産業が尾張旭に進出してきたのにくわえ、新たに軍需産業（旭兵器製作所）ができたのもこの時期である。

太平洋戦争が終わると、道路の様子はさらに変わっていった。大量に持ち込まれた占領軍の車両が通るために、広い道が作られていったことも見落とすことはできない。

#### 瀬戸街道

馬も戦争の被害者  
日中戦争（1937年）が長引くと、軍馬がたくさん必要になった。

そのため日清戦争、日露戦争の時と同じように、尾張旭や大森などからも馬が調達された。

そのおりに渋川神社が馬の検査場になった。

\*満州事変以降の戦争に「参加した軍馬及び現地徴用馬は実に百数十万頭」に達したといわれる。「日本陸軍獣医部史」

戦時中には現在の名鉄瀬戸線三郷駅の南側に、電線の碍子をつくる軍需工場が建てられた。



【稿 役】

# アフガニスタンで何をするか

井田町

G

半年ほど前の新聞に

「アフガニスタンで、日本の青年が射殺された。」という記事が、にこやかな笑顔のひげ面の青年の写真付きで載った。

不毛の大地に水をひき、作物を育てる。村人と共に活動する中で、しだいに心が通い合い、彼は大きく成長していく。

NGO「ペシャワール会」の伊藤和也さんだ。その人がまた、私の前に登場した。2月23日のNHKスペシャル「菜の花畑の笑顔と銃弾」のテレビ画面で彼は元気に働

豊かな農村を指す彼の活動は、苦しく難しいけれど、すばらしい国際貢献であった。

この番組の中で二つの場面が印象に残った。

一つは、ペシャワール会の車から「日の丸」を消したところ。

もう一つは、村のお店の陳列ケースの中の伊藤さんの顔写真。

前者は、自衛隊の派兵

が決まり、日本に対する反発が強まったからだそうだ。

後者は、店の人によると「村のみんなは伊藤さんが好きなんだ。こうして飾っておくとみんなが喜ぶんだよ。」とのこと。日本が「お金と人」を使うべきは、「自衛隊派兵」か「NGOの派遣」か。私は迷わずNGOに

伊藤和也君・追悼写真展

アフガンに緑の大地を  
とき：4月21日～30日

会場：名古屋国際センター

(地下鉄桜通線「国際センター」)

主催：ペシャワール会

つぎこんでほしいと思う。

オバマ大統領の増兵に協力しそうな今、日本中の皆さんにこの番組を見て考えてほしいと思う。

## お知らせ

左のように世話人の交代がありましたのでご報告します。

退任

H・Sさん(桜ヶ丘町)  
(県外に転勤のため)

新任

W・Tさん(向町)  
T・Eさん(旭前町)

(お二人には事務局に入っていました)



水田に立つ伊藤さん  
(日本米の田植えで)

【投稿】

# 十七文字にこめた「反戦の心」

東 栄 町 H

「屍（しかばね）の  
みないニユース映画で  
勇ましい」

「手と足を  
もいだ丸太に  
してかへし」

これは反戦川柳作家鶴  
彬（つるあきら）、本名  
喜多一二（きたかつじ）  
の代表作である。

彼は明治四十二年石川

県の高松町で生まれ、日  
本全体が軍国主義に向か  
おうとしている中、戦争  
に反対する作品を次々と  
発表した。

その過激な表現により  
治安維持法違反で二度も  
逮捕され、昭和十三年、  
二十九歳という若さで獄  
中にて病死した。

十七文字に「反戦の心」  
をこめて闘っていた人物  
がいたことを、我々は決  
して忘れるわけにはいか  
ない。

日本という国全体が今  
や「平和ほけ」のような  
状態になり、気がつけば、  
ほとんど議論されること  
もないまま、海上自衛隊  
が「海賊対策」という名  
のもと、すでにソマリア  
沖に出発してしまってい  
る。

ることなく、我々はしつ  
かりと自分の目を見開い  
て現実を見極め、声をあ  
げることが恐れず、平和  
への願いを訴えていかな  
ければならない。

鶴彬に関しては、「九  
条の会」呼びかけ人のお  
一人でもある、澤地久枝  
さんの手によって『鶴彬  
全集』も復刻されている。

また、私事ではあるが、  
私の主人が鶴彬の甥にあ  
たり、ドキュメンタリー  
映画の製作にも少しばか  
り協力をさせていただけ  
ている。

金融危機・雇用不安、  
そして世界情勢からも目  
が離せない状況になった  
現在、一部の政治家の言  
葉やイメージに惑わされ

今年はちようど彼の生  
誕百年にあたり、それを  
記念して、神山征二郎監  
督の製作によるドキュメ  
ンタリー映画『鶴彬くこ  
ころの軌跡』がこのほ  
ど完成した。

激動の時代にあつて、  
毅然としてその志を貫き、

激然としてその志を貫き、

今年七月には、名古屋  
駅前のシネマスコーレに  
て映画の上映もあると聞  
いている。関心を持たれ  
た方は是非ご覧になつて  
いただきたい。

今年七月には、名古屋  
駅前のシネマスコーレに  
て映画の上映もあると聞  
いている。関心を持たれ  
た方は是非ご覧になつて  
いただきたい。



鶴彬  
こころの軌跡

【投稿】ちよつといい話

## (1) ある中学生の会話

東栄町 I

3月のとある昼下がり。「戦争体験は人生の一部  
ぼかぼか陽気の中、私の 9条危機なら運動へ軸  
少し前を、セーラー服姿 足」という題の下、平  
の中学生が3人おしゃべりしながら歩いていま  
私の家を通り過ぎると

き、「憲法：」と1人が  
言つて、「反対する人が  
いるんかねえ」ともう1  
人が言いました。「えっ  
!?中学生がこんな会話し  
ている」と驚きました。  
とつても自然な雑談とい  
うふうでしたから。

その日、我が家のプロッ  
ク塀には「ノーベル賞受  
賞 益川さん 9条を語  
る」の大見出しの左側に、  
1月31日付朝日新聞、  
でも、うちは小学校の

通学路に当たり、ご近所  
に、「9条の会・尾張旭」  
のミニポスターをつけて  
下さっている家が何軒も  
あるので、この中学生た  
ちは、小学生のころから  
見るともなしに看板や、  
ミニポスターを見ながら  
登下校を繰り返してきた  
のでしよう。その結果が、

## (2) ポスターで対話

J · T

「憲法：」「反対する人  
がいるんかねえ」という  
何気ない会話になってい  
るのかもしれない。

そう思うと、私たち一  
人一人の小さな行動が、  
次世代にきつちり受け止  
めてもらえているようで、  
なんか嬉しくなつてしま  
いました。

保険の外交で訪ねてき  
た若い人(30代?40代?)  
と、我が家の玄関先に貼つ  
てあるミニポスターをきつ  
かけに、「9条の会」の  
こと、澤地さんのことな  
どを話し、「3周年のつ  
どい」のチラシも渡すこ  
とができました。

ミニポスターや「3周  
年のつどい」のポスター  
は、対話のきつかけをつ  
くってくれる優れたもので  
す。

彼は名東区の人ですが

# ノーベル物理学賞受賞の

## 益川敏英さん 9条を語る

3月1日付け「朝日新聞」によれば、ノーベル物理学賞受賞の益川敏英さん(名古屋大学出身)は「九条科学者の会」の呼びかけ人でもあります。「9条」に強い思い、インタビューの中で益川さんは「呼びかけ人」になったことについて、

「日本を『戦争のできる国』に戻したい人たちが改憲の動きを強めているのに、ほっとけないでしょ」「本当に9条が危ないという状況になれば、私は軸足を研究から運動の方に移します」と、「9条」に寄せる強い思いを語っています。

改憲は戦争するため  
3月8日「九条科学者の会 発足4周年記

朝日新聞より

(上=3月1日付け)

(左=3月9日付け)

### 平和日々願う



益川敏英教授語る



「九条科学者の会」の発足4周年を記念して、3月8日(土)に名古屋大学豊田講堂で「九条科学者の会 発足4周年記念講演会」が開催された。益川敏英さん(名古屋大学出身)が「九条を語る」と題して講演した。益川さんは「九条を語る」と題して講演した。益川さんは「九条を語る」と題して講演した。



なほ改憲 物理学界は問う

念のつどい」の講演では、「僕は物理屋だから『なぜ』と考える癖がある。改憲派の人たちは、なぜ憲法を変えたがるのだろうか?」「彼らは条文に不備があるからと言っているが、解釈改憲で自衛隊はソマリアまでも行く時代です。条文の不備のせいじゃない」「9条があつたのでは出来ないことをやりたいからに違いない。つまり、自由に兵器を使うようにしたい、ということなんです」。

怖かった戦争の体験  
また名古屋空襲で、自宅の屋根を焼夷弾が突き抜けたという幼いころの怖かった体験を振り返って、「私は、子供にも孫にもあんな思いはさせたくない。国家が国家の名のもとに始める戦争はやです。好きな人はやってください……。あ、いや、それも困る」。ひょうひょうとした口ぶりに、会場は何度も笑いに包まれたといいます。

今からご予約下さい  
**益川敏英さんが講演!**  
あいち九条の会  
09県民のつどい  
開催日:11月3日(文化の日)  
会場:名古屋大学豊田講堂

～ご参加ください～



ビデオで見る  
**澤地久枝さん**  
これまでの歩み、  
未来への思い

日時: 4月19日(日)午後1時30分～  
会場: 中央公民館2階

「会議室2」にて

内容: 澤地久枝さん出演  
NHK番組「知るを楽しむ」  
**人生の歩き方**  
**「声なき声を聞く」**

3月に一度上映し、素晴らしい内容に感激して再上映を決めました。

参加自由です。ご一緒に見ませんか。  
\*会場費カンパをお願いします(200円程度)

九条の会・尾張旭ニュース

## 原稿募集

- ・内容: 九条や平和に少しでも関係するものなら結構です。
- ・締切り: 2009年5月31日(日)
- ・発行: 2009年6月15日(予定)  
《送り先》  
〒488-0011 東栄町4-4-4 筒井 洋  
Tel.Fax : (0561)-54-6279  
E-mail: hiroshi.tsutsui@nifty.com

**5月24日(日)**  
**九条の会・尾張旭3周年のつどい**

## 文化会館大ホールで いっしょに 歌いませんか？

「ピース合唱団員」募集のお知らせ  
いま、思いっきり歌えることの喜びをともに感じながら、ごいっしょに平和への思いをうたいませんか？

歌うことが好きなあなた！初めてだけど大丈夫かしら？と迷っているあなたも！まだ間に合います。

お申込みは 0561(54)6279 筒井 まで

歌う曲 「いちばん大切なもの」  
「ロマンチストの豚」「ふるさと」

今後の練習日程

4月18日(土)18:30～20:30

4月29日(祝)13:00～15:00

5月9日(土)18:30～20:30

5月17日(日)10:00～12:00

5月20日(水)10:00～12:00

\*練習場所 文化会館・中央公民館

\*参加費 1回500円

催しのご案内

5月3日(祝)午後1時～4時

「憲法施行62周年記念市民のつどい」

名古屋市公会堂大ホール

講演: ジェームス三木さん

5月17日(日)午後1時30分～

「憲法9条をまもる瀬戸の会 4周年」

瀬戸市文化センター(500円)

講演: 安斎 育郎さん

「九条の会・尾張旭」事務局発行

《連絡先》 筒井 洋( 54-6279) 澤田 徹二郎( 54-0477) 芝野 庄八( 53-5841)